

モルタル面及びせっこうプラスター面

7章10節：合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) 水性ビルデック（標準仕様）

公共仕様No.
DNT-改修・10-1-06

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JIS K 5663 合成樹脂エマルションシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2	JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント	水性ビルデック	F☆☆☆☆	水道水

塗装仕様

表7.2.4 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整【RA種】

※詳細は、7.2.5 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整をご参照ください。

工程		塗料その他			面の処理
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、全面除去する。
2	汚れ、付着物除去	—			素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3	ひび割れ部の補修	—			4章[外壁改修工事]によるひび割れ部の補修は、特記による。
4	吸込止め	JIS K 5663	合成樹脂エマルションシーラー	—	既存塗膜を除去した範囲に塗り付ける。
5	穴埋め、 パテかい	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて不陸を調整する。
		JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	
6	研磨紙ざり	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する。
7	パテしごき	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面をしごき取り平滑にする。
		JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	
8	研磨紙ざり	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する。

表7.10.1 合成樹脂エマルションペイント塗り【A種】 ※詳細は、7.10.2 合成樹脂エマルションペイント塗りをご参照ください。

工程		商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
1	下塗り	水性マイティー シーラーマルチ	クリアー	－	無希釈	刷毛 ローラー	0.07	2時間以上 1ヶ月以内
						スプレー		
2	中塗り (1回目)	水性ビルデック	各色	－	5～10	刷毛 ローラー	0.10	3時間以上
					10～20	スプレー		
3	研磨紙ざり	研磨紙P220～240					－	清掃後
4	中塗り (2回目)	水性ビルデック	各色	－	5～10	刷毛 ローラー	0.10	3時間以上
					10～20	スプレー		
5	上塗り	水性ビルデック	各色	－	5～10	刷毛 ローラー	0.10	－
					10～20	スプレー		

注) 水性ビルデックには、艶消、3分艶、5分艶、7分艶があります。

注意事項

- * 上記塗付け量は、国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。